

第 36 回ビホロ 100km デュアスロン大会 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

(令和 4 年 5 月 1 5 日時点)

本ガイドラインは、「第 36 回ビホロ 100km デュアスロン大会」の開催にあたり、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐとともに、感染症が発覚した場合に迅速な対応を行うことを目的として定めるものです。内容については新型コロナウイルス感染症の感染状況により内容が変更される場合があります。下記の項目をよくお読みいただき、内容を承諾したうえで大会にエントリーするよう、また安心・安全な大会運営にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

ビホロ 100km デュアスロン大会実行委員会委員長 伊 藤 善 啓

1 感染症防止対策のための遵守事項

参加者は、以下の事項を了承し、遵守することを同意いただいたうえで、エントリーを行うものとしてします。

(1) 以下の場合は、ビホロ 100km デュアスロン大会への参加を辞退すること。

- ①体調がよくない場合（例：発熱・咳・鼻汁・咽頭痛・息苦しさ・倦怠感・味覚異常・嗅覚異常などの症状がある場合）。
- ②大会 10 日以内に、新型コロナウイルス感染症とされた方との濃厚接触がある場合。
- ③大会 10 日以内に、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
- ④過去 10 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

(2) 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症への感染が発覚した場合は、主催者（大会実行委員会事務局）に報告し、自治体や保健所等の調査に協力すること。

(3) 上記により参加を辞退した場合や自己都合による参加取りやめはいかなる事情であっても参加料の返金はありません。

2 参加選手・参加スタッフの対応（基本事項）

(1) 大会への参加・協力にあたり、普段から基本的な感染対策に心がけ健康維持に努めること。

(2) オミクロン株は感染力が強くエアロゾルによる感染が指摘されていることから、屋内では常に換気を行いエアロゾルの滞留を防ぎ、運動をしていないときにはマスクを着用すること。

(3) 健康調査書兼新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（体温、咳、痰、鼻汁、咽頭痛、息苦しさ、倦怠感、味覚異常・嗅覚異常の有無など）に記入し大会前日又は当日の受付時に必ず提出すること。

(4) マスクを持参すること。（参加受付時や着替え時、会話をする際にはマスクの着用すること）

(5) 対人距離（できるだけ 2 m 以上）を確保すること。

3 具体的な感染症対策

(1) 大会前から大会当日

- ①参加者は、2回以上の新型コロナウイルスワクチン接種証明書（「新型コロナウイルス感染症予防接種証明書」「新型コロナウイルスワクチン予防接種済証（臨時）」「新型コロナウイルスワクチン接種記録書」のいずれか）または、陰性証明書（PCR検査：8/18（木）9：00以降「抗原定量検査：8/18（木）9：00以降」「抗原定性検査：8/18（木）9：00以降」のいずれか）を柏ヶ丘陸上競技場入場時に提示してください。なお、ワクチン接種をされていない方又は接種証明のない方及び陰性証明で確認できない方は、受付時に抗原定性検査キットで検査を行うこと。（有料1,000円/12歳未満は無料）
- ②本大会に参加される方は、健康調査書兼新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシートの提出が必要です。大会ホームページからチェックシート様式をダウンロードし、大会1週間前から体調と体温を記録してください。大会受付時にチェックシートの提出がない場合や虚偽の記載があった場合は、大会に参加することはできません。
- ③発熱（37.5℃以上）のある方や体調管理チェックシートに当てはまる症状がある場合は、主催者の判断により参加をお断りする場合があります。この場合の参加料の返金はいりません。

(2) 入場受付

- ①検温実施後、場内に入場することができるのは選手のみとし、受付完了のリストバンドを交付します。入場の際は、「リストバンド」を必ず着用してください。スタッフがリストバンドの有無を確認させていただきます。なお、リストバンドは競技が終了し、会場を離れるまで着用したままです。
- ②ジュニアの部に参加の選手は、保護者または監督者1名まで、受付及び競技エリアの入場を認めます。受付で検温後入場の際は「リストバンド」を交付しますので、必ず着用して入場してください。ただし競技中の競技エリアへの入場は認めないものとします。
- ③指定された入場口から会場内にお入りください。

(3) 陸上競技場内の行動について

- ①会場内ではマスクの着用等、手指消毒等の感染防止対策を行ってください。大会が求める感染防止対策に従っていただけない場合は、参加をお断りする場合があります。この場合の参加料返金はいりません。
- ②大会参加中のマスク着用を徹底してください。なお、下表のとおり行動状況により着用基準を定めますので、感染対策を徹底してください。

| 行動状況 | マスク着用有無 |
|-------------------------|---------|
| 受付～車検～会場内（自転車設置など） | 必ず着用 |
| ウォーミングアップ時（他者との距離を保つこと） | 任意 |
| スタートエリア整列時スタート1分前まで | 必ず着用 |
| スタート1分前～競技中 | 任意 |
| フィニッシュ後（会場内） | 必ず着用 |

| | |
|---------|------|
| 表彰式・閉会式 | 必ず着用 |
|---------|------|

③感染防止の観点から、陸上競技場内に更衣室はありません。事前に着替えを済ませてから、会場へお越しください。

④陸上競技場内にゴミ箱は設置しません。補給所以外のゴミやマスク、ペットボトル等は各自持ち帰るようお願いします。

(4) 競技中

①他の参加者とは可能な限り1m程度の間隔を空けるようにしてください。

②競技中のマスクの着用は各自の判断としますが、外す場合は各自携帯してください。

③陸上競技場内やコース上で唾や痰を吐かないでください。

④給水所では、マイボトルへの給水および紙コップでの給水方法を併用します。また、飲み終わったカップなどのゴミは、沿道には投げ捨てず、必ずゴミ箱に捨ててください。

⑤体調不良を感じた場合は、速やかに会場内及びコース上のスタッフにお申し出ください。

(5) フィニッシュ後

①フィニッシュ後は、呼吸が整い次第速やかにマスクを着用してください。ゴール後マスクを配布します。

②休息時を含め可能な限り、他の参加者とは最低1mの間隔をとってください。

③会場での完走証の発行はありません。WEBからダウンロードしてください。

④大会終了後2週間は、各自で検温等体調チェックを実施してください。

⑤大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症への感染が発覚した場合は、主催者（大会実行委員会事務局）に報告してください。

(6) その他

①沿道での応援については、大会当日に想定される感染状況により、自粛をお願いする場合があります。あらかじめご承知おきください。

②本大会運営スタッフにおいても、開催1週間前より、健康状態を記入したチェックシートにて健康管理を徹底します。

③大会当日、関係者・スタッフは全員、検温を行います。

④スタッフは全員マスクを着用し、参加者と接触する可能性がある運営スタッフは、必要に応じてフェイスガード、ビニール手袋を着用します。

⑤本大会は、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の利用を推奨しています。ご自身のスマートフォンにインストールしてご利用ください。

⑥大会参加中に生じた傷病については、見舞金の給付をする場合がありますが、新型コロナウイルス感染症は保険適用外となります。